

## ■ 市長から市民のみなさんへ

山陽小野田市長  
白井 巧文



### ■ 機雷の爆破処理について

去る3月末、埴生漁港沖合の浅瀬（埠頭から約150m）で機雷1発が発見されました。海上自衛隊の調査によると、まだ爆発の危険があるそうです。早速、海上保安署により周辺に立ち入り禁止の措置が執られ、一方、関係者が市役所に集まり、安心安全な爆破処理の時期や方法等が検討されました。私も本市の担当者と一緒に出席しました。

その席では、爆破処理についての権限と能力がある海上自衛隊に対応が一任されましたが、4月18日、海上自衛隊から本市宛に、次の大潮にあたる5月17日(土)の12時15分、埴生漁港の沖合約3,500mの海中で爆破処理することに決定した旨の通知が届きました。

機雷の爆破力は、地上では半径600m、水中では半径500mの範囲に影響が出かねないそうです。

海上自衛隊では、爆破処理の前日から準備し、当日の10時から、埴生漁港の沖合約3,500mに向けて、機雷を移動させる予定だそうです。その機雷の位置を中心として、陸上では半径600m、海上では半径500mの範囲の人や漁船に対し、万一の事態に備え避難することを求めています。避難は、陸上ではそう長い時間にはならない予定ですが、その時間帯は、警察による交通規制もかかります。

すでに本市の担当者が、該当する自治会長や

民生委員のみなさんに相当部数の資料を添えてお願いにまわっていることと思いますが、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

### ■ 県政懇談会がありました

4月15日、山口県市長会のあと、町村会も加わり、県政懇談会が開催されました。新知事からは平成26年度の県政方針が、また県の各部長からは新規事業の説明などがありました。総じて、山本前知事の県政を基本的に継承しながら、新知事の姿勢や意欲の伝わる内容のものでした。産業戦略構想は山本前知事の遺産をさらに発展させるものですが、観光の分野は、相変わらずNHKの大河ドラマに依存する傾向が強いような印象を受けました。ただ、知事自ら県下各地に出掛け、多くの県民の声に耳を傾けたいとか、知事を隊長とする「中山間支援隊」を県庁内に創り、中山間に住む県民の手伝いに出掛けたいと述べられた部分は、これまでの県庁が変わるのかな、という期待を持たせてくれました。かねて市の職員は住民と対面しながら汗を流していますが、県庁の職員は大半がデスクワークのように見えていた私には大変新鮮なものを感じました。県と市町との連携もこれまで以上に発展することでしょう。期待したいところです。